

## 第 1 回京丹後市文化財保護審議会

- 1 開催日時 平成 21 年 5 月 27 日（水）午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分
- 2 開催場所 大宮庁舎 4 階第 2・3 会議室
- 3 出席者 田中光浩委員、平井久夫委員、糸井秀太郎委員、  
吉岡英一委員、城下圭介委員、藤田泰弘委員、富澤孝雄委員、  
足達礼三郎委員、吉江俊昭委員、今村純訓委員
- 事務局 米田教育長、水野教育次長、祝前哲夫館長、吉田課長、横島補  
佐、岡林主任、橋本主任技師、能勢主任、小山主任
- 傍聴人 0 人
- 4 内 容
- (1) あいさつ
- (2) 議事
- ① 平成 21 年度文化財関係事業について 資料 1  
追加資料
- ② 新市指定文化財について（非公開） 資料 2
- ④ その他 追加資料
- 5 要 旨

### ● あいさつ （米田教育長）

こんにちは、平成 21 年度がはじまり、早くも 2 ヶ月が経過しました。米田副市長が、教育委員会担当副市長となり、副市長も合併当初の 2 名体制になりました。学校教育課と社会教育課は課長が交代するなど大きな変化がありましたが、文化財保護課については人事異動もなく昨年度と同じ体制であります。気がつけばもうすぐ 6 月になろうとしています。本日は、お忙しい中第 1 回の文化財保護審議会にお集まりいただき有難うございます。5 月は新型インフルエンザの対応に追われた月でした。私たちの生活や経済にも大きな影響があり、市内でも影響が出ています。市内の学校でも 5 月下旬から 6 月上旬に 9 校が修学旅行を予定していましたが、教育委員会の自粛要請により秋に実施の予定になりました。学校のクラブ活動も市外の学校との対外試合の自粛を行っていましたが、昨日解禁したところです。本日は平成 21 年度の文化財関連事業の説明、京丹後市指定文化財の審議が主な議題となります。新指定にむけて 2 回にわたり協議をしていただいています。現地見学等も含めて活発に検討いただきたいと思います。京丹後コミュニティ放送が本日開局いたしました。地域密着の FM 局の開局にあわせ、今後文化財の情報提供もどんどんしていき文化財

保護の活動をどんどん広げていきたいと考えています。本日もよろしくお願ひ  
します。

● あいさつ（平井会長）

ご多用のところご出席いただきありがとうございます。本日は3つの議題を  
準備しています。1つめの議題が終了した後に休憩を入れたいと考えています。  
昨年度の3月の委員研修会の後、ジオパークに係る活動など様々な新しい取組  
みが始まっています。質問や意見もたくさんあると思いますので、本日も活発  
な議論をよろしくお願ひします。

（事務局）久美浜の2名の委員は、葬式等で少し遅れるとの連絡を受けていま  
す。それでは、早速ですが、議事進行の方をよろしくお願ひします。

議事

①平成21年度文化財関係事業について

（平井会長）それでは、議案1について事務局より説明をお願いします。

（事務局）資料1をご覧ください。最初に各事業の予算を簡単に説明を行い、そ  
の後事務分掌に基づき、担当職員から詳細を報告させていただきます。まず、  
郷土資料館管理運営事業について説明します。事業費は3,689千円計上してい  
ます。平成19年度より、週3日開館しています。以前は火曜日と土曜日の2  
日間の開館でした。ほぼ例年通りの事業計画、郷土資料館まつりの開催や織り  
のコーナーにかかわる予算を計上しています。

次に古代の里資料館運営事業には10,056千円計上しています。古代の里ま  
つり・企画展に関わる予算です。

次に資料館等指定管理運営事業について説明します。これは、鳴き砂文化館  
の管理運営に関わる予算で、本年は7,319千円を計上しています。平成20年  
度は全国鳴き砂サミットを開催しました。今年の秋には、自然公園の全国大会  
が京丹後市で開催される予定であり、文化館のリニューアルのパネル作成予算  
も計上しています。

続いて、文化財保護審議会委員設置事業は480千円計上しています。年4回  
の審議会の開催、わずかな額ですが活動の記録集を作る経費も計上しています。

文化財保護啓発事業では、1,657千円を計上。市民対象に行う文化財セミナー  
・市史考古資料編の刊行記念シンポジウム・丹後震災記念展の予算が含まれ  
ています。

指定文化財等管理事業には、5,236千円を計上。補助金として2,700千円そ  
の他は草刈の委託料や看板設置の費用です。今年は久美浜湾カキ養殖景観看板  
設置として新規に1,000千円が認められました。

市史編さん事業は、8,549千円を計上。八つの専門部会に分かれ資料調査・

峯山藩関係史料集刊行・社寺調査、久美浜湾ボーリング調査報告書の刊行等を予定しています。

次に、文化財整理事業についてですが、今年も写真資料の整理を中心に行う予定を立て、641千円計上しています。

遺跡整備事業では、昨年から行っている網野銚子山古墳の下草刈などの費用・昨年の豪雨で崩れた赤坂今井墳墓の法面復旧工事費用 1,027千円を計上しました。

遺跡発掘調査事業は、本年は 5,143千円を計上しています。網野銚子山古墳の範囲確認調査と報告書の刊行、森本圃場整備の試掘調査が主な内容です。

稲葉家資料展示活用事業には、国庫補助を受けて調査した稲葉家の文書の活用を図るために 1,020千円計上しています。この中には、内蔵の一つを文書の収蔵庫に改装する費用が含まれています。

最後に、文化財保護一般経費として、その他の補助金や施設管理の経費を 771千円計上しています。

21年度の予算について簡単に説明をさせていただきました。以後は担当職員から詳細な説明をさせていただきます。

豪商稲葉本家の展示について、古文書の目録化が終了したので活用を図るための展示を行います。昨年の三月に内蔵の収蔵庫化の工事を行い、本年度予算でも引き続き、改修工事を予定しています。古文書ラベル貼りがまだ残っていましたが、昨年度の緊急雇用対策として整理が進み、改修後は内蔵に収蔵する予定です。平成 20年度は近代資料を中心に展示をしていましたが、21年度は近世を主に江戸時代の資料を中心に展示を行う予定です。詳しくは資料 1-2 をご覧ください。稲葉本家の古文書は膨大な資料であり、市指定文化財にふさわしいと考えています。今後検討していく必要があります。

啓発事業については、古代の里資料館の展示予定を資料 1-2 にも上げていますが、考古資料編の刊行を記念しての事業を含め、来年度前半までかけて各時代ごとの通史資料を展示する予定です。また、永浜宇平の資料研究を行い、翌年度の展示への準備も進めていく予定です。

資料 1-3 をご覧ください。市史編さん事業は、考古資料編を昨年度刊行する予定でしたが、繰越事業となり、今年度の秋頃完成予定に準備を進めています。峯山藩関係史料集も 8 月に入札ができるよう進めていきます。平成 19 年度に久美浜湾のボーリング調査を行い平成 21 年 9 月にデータの分析が終了するので、調査報告書を刊行する予定です。社寺調査については平成 19 年網野町、平成 20 年大宮町と終了し、今年度は弥栄町域で行う予定です。連休中にも 10 箇所実施しましたが、傷みの目立つ建物が多いことが気になります。地域で保

護されてきた社寺の防犯についても課題が多くあります。彫刻・絵画の調査も例年どおり実施する予定です。古文書の調査については、峯山藩関連が一段落したので、久美浜代官所の文書を調査したいと思っています。代官所の文書は、伊根町～但馬・美作と広範囲にわたっており、広いエリアでの確認作業をされたことがないので、注目しています。

民俗調査についても、久美浜・網野・丹後と実施し、本年は弥栄で実施する予定です。

資料 1-4 をご覧ください。昨年まで実施していた湧田山古墳の調査については、網野銚子山古墳の調査が終了するまで休憩することになりました。本年度は網野銚子山古墳の調査に加えて、大宮第 3 小学校横にある松山遺跡を圃場整備に伴う調査として実施します。松山遺跡は縄文晩期の注口土器が発見されていますが、発掘調査の実績はありません。京都府との合同調査になりますが、市の担当するエリアは竹野川沿いになります。時期は春と秋に 2 回分けて実施します。3m×3mのグリッド調査を行い、遺構の確認を行います。春の調査は明日から重機を用いて、2 日間実施します。年間の調査スケジュールを見てください。それぞれ現段階での予定が記入してあるのでご確認ください。中世城館調査は京都府が実施するもので市にも協力要請が来ているものです。

赤坂今井墳墓の災害復旧工事について説明します。平成 20 年 7 月 28 日の集中豪雨で赤坂今井墳墓の法面が崩落したもので、8 月 4 日付けで文化庁に報告していたものです。修復の工法について協議が整い、平成 21 年 4 月 24 日に文化庁へ復旧届を提出し、現在工事中です。工法は崩落した土を撤去し、まさ土で現況勾配に戻し、植生シートをはるものです。6 月末終了を予定しています。

本日配布した「商いと道具」という資料をご覧ください。昔のくらしの様子を説明してもらいたいとの学校からの要望がたくさんあります。子どもたちに質問をさせて、考えを深めさせるという手法を学校は望んでいますが、郷土資料館内を案内するという形で対応しています。郷土資料館の取組の参考に資料を持参しました。

(平井会長) ありがとうございます。議案 1 について、何か質問等ございましたか。

(資料館長) 民具について、民具整理が終了したので、網野資料館にないものは他町の資料を移動して展示に活用しています。また見学に来てもらってください。

(平井会長) 市の指定文化財の説明看板もいずれは設置が必要です。大宮町のブナ林の看板が現在なくて困っています。看板設置の見通しはたっていますか。

(事務局) 看板設置については、いつも予算要望をしていますが、今年度は文化

的景観の久美浜町分の 100 万円しか予算化できませんでした。例年新規の看板 2 基分約 30 万円程度の予算は認めてもらっていましたが。看板設置状況は国指定・府指定についてはほぼ整備が終了しました。市指定文化財は未設置が多く、順次設置していく予定にしています。また、ジオパークについての取組みが活発になされ、主管課は観光振興課になりますが、そちらの経費で整備される看板は増えるとは思いますが。

(委員) 市史編さん事業でいろいろと調査が進んでいますが、仏像調査については市内全部の調査を終了しましたか。

(事務局) 全部の寺院を調査したわけではありません。過去のデータ等を参考にしてピックアップしながら調査を進めています。140 程度寺院はありますが、現在までに 100 程度は回ったと思います。何かの折に仏像やお寺を見せていただくようにしています。

(委員) 寺院の仏像や財産の管理について住職によって差があり、財産の保護ができにくい場合もあります。

(委員) 市内の社寺は無住のところが多々あると思いますが、盗難対策等はどうのように指導していますか。

(事務局) 無住の場合で、盗難の恐れがあるものについては、資料館に緊急に預かるという対応をした例があります。しかし、資料館のスペースの問題もあり、重要なものに限っています。また、地元が同意してくれるかどうかという問題もあります。現状では収蔵庫を作成する予算は地元が半額負担しなければならず大変難しいと思われれます。地元が半額負担する気があれば、重要なものには自動火災報知機を設置する補助事業もあります。

(委員) 予算のこともあり、市内全部できないのはわかりますが、貴重な文化財を守るため、何らかの指導はする必要があると思われれます。

(事務局) 文化財防火デーには市指定文化財の所有者のうち、年に一度ですが消防署と合同で指導もしています。

(委員) 昨年まで行っていた博士講座はしないのですか。

(事務局) 当初今年度は実施しないつもりでしたが、受講者からの希望も多く、文化財セミナーの予算を利用し、要望も多かった現地説明を含めた講座を秋に実施する予定にしています。

(委員) 市史編さん事業で久美浜ボーリング調査報告書の刊行が予定されていますが、何時ごろになる予定ですか。

(事務局) 原稿は揃いつつありますが、他の刊行物の出版を終えてから入札を行う予定にしているため、12 月頃が入札の時期になり、3 月までの年度内に刊行できる予定です。

(平井会長) 他に質問はありませんか。網野郷土資料館から学校向けの教材の話がありましたが、整理終了した民具はどのように利用されているのですか。

(事務局) 旧町毎の民俗資料の目録化は終了しています。弥栄郷土資料館、成路分校は見学の申込みがありましたが、実際の学校の要望は、網野郷土資料館へマイクロバスを利用して見学に行くという形が一番多いのが実情です。不可能な場合は資料を教材として貸し出すという場合があります。先日も大宮第一小学校へ資料貸出を行っています。

(委員) 網野郷土資料館を見学に行きましたが、展示はきちんとしてありますが、防犯上の問題が多いにあると感じられました。展示してある資料の中には貴重なものも多くありますが、人の目が無いので、盗もうと思えばすぐにできると思います。

(事務局) 委員ご指摘のとおり、実際資料館は、場所も広く十分な監視体制はとれていません。しかし、資料を手にとって本物に触れられるという資料館の良さもあります。防犯上の危険はありますが、今の方法しか現実問題としては対応が不可能だと考えています。

(委員) 教科書や浮世絵、べっこうのかんざし等高価なものも多く展示してありました。書店で骨董品の本なども売られており、その中には仏像等も掲載されています。知識を持った目利きの人が来館すれば、盗難に会うおそれは高いと思われまが。

(平井会長) 今までに盗難にあった事がありますか。

(資料館長) 郷土資料館に来館される方は良識のある方だと信じています。そのような想定は今のところしていません。

(委員) 随分昔のことになるが、資料がなくなった例があります。

(委員) 最近では老後に稲作に挑戦している小規模な農家が増えています。資料館にある道具を貸して欲しいという声もあります。農具の貸出をして有効利用すればどうでしょうか。

(平井会長) 民具の整理をしている中で、同じ道具の多さを感じました。展示に必要なもの以外であれば有効に活用してもよいのではないのでしょうか。今後の検討課題にするべきことです。

(委員) 新聞記事でも古い除草機を利用している写真を見たこともあります。

(事務局) 農林漁業の体験活動を公的な性格の高い組織が取り組むような場合に限り活用できるような仕組みを作ることは可能かもしれませんが、個人使用も認めるのはやや抵抗があります。

(委員) 時代の流れで、博物館でも使用できるものを使った体験コーナーなどを設けています。また、資料が手にとって触れるような展示に方向転換しつつあ

ります。有効活用できるシステムを構築する必要性は高いと思います。展示と保管、活用まで総合的に考えた基本計画の策定が必要なのではないのでしょうか。その上で足りない民俗資料があれば収集計画も建てる必要があります。

(委員) 戦後、不要な農機具がどんどん出た時代があります。その全てが資料館に持ち込まれているとは思えません。

(平井会長) 今すぐに解決できる問題ではありませんが、重要なことなのでこれからの検討課題としたいと思います。それでは、ここで審議を中断し 10 分間の休憩に入ります。

### ② 京丹後市指定文化財について (非公開)

(平井会長) 審議を再開します。事務局より説明をお願いします。

### ③ その他

(平井会長) 他にありませんか。無ければ事務局も簡単に触れていましたが、委員活動の記録のことについて、説明をしたいと思います。休憩の間に追加資料を配布しました。資料の右下に表紙の原案を入れてあります。縦書きでどうだろうかと事務局と相談したのでそのようなレイアウトになっています。また資料は、ジオパークに関連するものです。去年の会議で委員の活動記録については記録に残すということを確認していただいたので、5月にタイトルなど詳細を富澤副会長と相談を行い、原稿 400 字詰 10 枚程度、2 タイトルの場合は 1 タイトル 5~6 枚。原稿の期限は 10 月末とすること。原稿は事務局に提出。事務局のほうで製本準備をしてもらうこととしています。もちろんデータで原稿提出できる方はデータ提出も可能です。10 月以降事務局のほうでレイアウトを考えてもらい、体裁を整えてもらう予定です。他に教育長あいさつ、2 年間の審議会としての活動記録等を収める予定をしています。タイトルについては、委員の研究成果をまとめるという趣旨から右肩に京丹後市文化財保護審議会と小さな文字で入れ中央に委員研究録とし、左下部分に西暦をいれる形にしました。冊子について、大まかにこちらで考えさせていただいたので、皆様のご意見をお願いします。

(委員) 良いことだとは思いますが。以前久美浜町では郷土史を発刊していましたが、合併後そういうものもなくなりました。何かそれに変わるものは必要だと思っていました。

(委員) 私自身の 2 年間の委員の任期で書くような研究内容があるかどうか不安です。

(委員) 良いことですが、私の考えがまとめられるかどうか自身がありません。原稿を書くのは大変なので不安に感じます。

(委員) プレッシャーを感じます。入って 2 年目なのでどんなことを書けばよい

のかと思います。期限が 10 月であれば何とかなるかと思っています。タイトルに異存はありません。

(資料館長) 昨年から話があった今回作成するものは、冊子として配布するものではなく、一応活動の記録をとどめておくものという認識でした。研究活動をしている委員も多数おられると思うが、委員活動を中心にしている方もいると思います。外向けに発信するものか、内向けの資料なのかという点をキチンと整理することが必要ではないでしょうか。

(平井会長) 個人の研究の発表の場だけでなく、今までの委員として活動したこと全ての中から自分はこんなことをした。感じたという思いを綴ってもらえればよいと考えています。

(委員) 研究をしている訳ではないので研究発表はできませんが、審議会の審議の中で発言したことの真意など個人の思いを綴ることならできます。

(委員) 個人的に研究もしているので出すことは可能です。しかし原稿が縦書きだと横書きで書いているので難しいと考えます。

(平井会長) 事務局との話の中で、横書きの原稿が良い方は横書きで出してもらったらよいと話しています。古文書等は縦書きなので、とりあえず縦書きレイアウトとしましたがこだわってはいません。

(委員) 大筋では賛成だが、「研究録」といわれるとたいそうな感じがします。縦書きか横書きは、最近の学術書も横書きのものもあれば縦書きのものもあるので、実情に応じて考えればよいと思います。

(委員) 個人で研究報告は行うものと考えています。中途半端なページ数では書かけるかどうかわかりません。

(平井会長) 「書く・書かない。」「出す・出さない。」は、個人の自由です。昨年からの話し合いの中で記録集を作る申し合わせが出来たので、実行に移している段階だと考えています。初めてのことで難しいこともありますが、今後も事務局と相談しながら、委員の皆様にも諮り年度内完成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

(委員) 自分も研究をしているわけではありません。調査についていき、話を聞かせてもらっている程度です。郷土史も製本をしていましたが内容を書いたことはあまりありません。

(委員) この会の思い出みたいなものでも良いのですか。

(委員) 基本的にはどんな内容でも良いと思っています。

(平井会長) 内容を制限することはありません。どんな内容でも自由に書いてもらったらよいです。審議会の委員もいずれ交代します。会の資質向上のためにも有用なものだと考えていますし、第一回目の記録集として形が残ればよいと

考えています。「研究」という言葉に引っかかるという意見もありますが、今後事務局と調整をしながら取り組んでいきたいと考えています。その他で何かありませんか。

(事務局) 先ほどからジオパークという言葉が顔を出しているので簡単に説明をしておきます。ジオパークフォーラムが 5/9 にアグリセンターで翌日の 10 日に地質見学会が丹後町と網野町で開催されました。ジオパークは 2004 年にユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークが世界各国で推進している地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園のことです。日本ではそれを受け、2008 年に日本ジオパーク委員会が設立され、日本ジオパークの認定を行っています。現在、アポイ岳、洞爺湖有珠山、糸魚川、南アルプス(中央構造線)、山陰海岸、室戸、島原半島の 7 地域が日本ジオパークとして認定を受け、そのうち洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島の 3 地域を世界ジオパークに認定してもらうよう申請中です。

山陰海岸は鳥取、兵庫、京都の 3 府県にわたる広範囲な地域が対象となっています。日本列島誕生時の記録として壮大なドラマが刻まれた地質遺産が広がっています。地質遺産を保全・保護するとともに研究・教育活動や観光などに活用することで地域振興につながることも大いに期待されています。

今後の予定は 6/19 に世界ジオパーク国内候補地の締め切りがあり、7 月に各地域の活動団体がプレゼンテーションを行います。その後 9 月までの間に日本ジオパーク委員会の現地視察を経て、9 月下旬に開かれる第 2 回日本ジオパーク委員会で候補地が決定します。

この候補地に山陰海岸が選ばれるには、地域住民、行政、民間企業が協働して取り組むことも重要なポイントです。現在行政を中心として 3 府県が積極的にあたっています。審議会の平井会長も京丹後市のジオパークに関する委員をお世話になっています。昨年度日本ジオパークには認定されたものの、世界への候補からもれた原因の一つとして地域住民との連携不足が上げられます。有力な候補地の一つとして名乗りを上げるためにも、ジオパークの啓発は重要な課題だと考え、この春からフォーラムの実施等行政としても鋭意取り組んでいるところです。

(委員) 会長が配布されたジオパークの資料の説明をお願いします。

(平井会長) 丹後半島の地図に、地質的に特徴ある山、川、海岸線に番号を振り特徴的な地形を説明した資料です。希元素鉱物については、最後に関連の資料をつけています。蛇足になりますが、子午線のモニュメントが新しく磯に作られましたが、木津のモニュメントは 50m 程度しか誤差はありませんが、磯のものは磯側に 2km もずれています。観光客から指摘を受けることもあるので何

らかの対応をする必要があると思われます。以上です。

(委員) 戦時中は網野町内でもマンガンを掘っていた場所があります。

(平井会長) 当時の鉱物の標本はありますか。

(委員) ひょっとしたら小学校にあるかもしれません。

(平井会長) 河辺石も現在ではほとんど標本がない状態です。現存する標本もわずかです。かつては展示するごとに標本がなくなったとも聞きました。

(委員) 化石の件だが、浜詰と琴引浜の間の海岸から取れますが。

(平井会長) 資料にも載っている「柴石浜」の事だと思われます。その他全体を通じて何か質問や意見はありませんか。

(委員) 木津の庄屋で「人足切手」を発行していたところを知りませんか。岡田あたりだと思われますが。

(委員) よくわかりません。

(平井会長) ジオパークの関連で経ヶ岬の入り口の説明看板の内容が間違っていると指摘しましたが、訂正はされたかどうかわかりませんか。また、先ほども触れましたが磯のモニュメントについて検討する必要を感じていますが、事務局としてはどう考えられますか。

(事務局) 観光協会がジオパークの関連で3月に新しい看板を設置しています。修正原稿さえ渡していればその時に直しているとは思いますが連絡もないので事務局では確認できていません。モニュメントの件は主管課である観光振興課に審議会で話題に上がった件を伝えておきます。

(平井会長) その他で何かありますか。なければ本日の審議会を終了したいと思います。

#### ●閉会あいさつ (水野教育次長)

熱心な議論を長時間にわたりありがとうございました。委員の活動記録という取り組みは初めてではありますが、審議会活動のモチベーションを支える事業としてその成果を楽しみにしています。本日はどうも有難うございました。